

エコ1チャレンジカップ 2025

～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～
未来へ続くスマートドライブ

実施要項

自動車技術会 関東支部
東京都市大学
日産自動車株式会社

実施概要

●大会名称

エコ1チャレンジカップ 2025 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

●開催趣旨

1. ものづくりの楽しさと重要性の認識
2. 環境とエネルギー問題の認識と体験
3. 創造性に富む人材の育成

●大会テーマ

未来へ続くスマートドライブ

●共催

公益社団法人自動車技術会 関東支部
東京都市大学、日産自動車株式会社

●後援

文部科学省、公益社団法人日本材料学会、
一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電気学会



●協賛

東急自動車学校、株式会社東京アールアンドデー、日野自動車株式会社、株式会社ピューズ、東京都市大学 校友会

●開催期日

2025年8月23日（土）

●開催場所

東京都多摩市唐木田3丁目6 東急自動車学校（四輪教習コース）

●競技概要

バッテリーの電気エネルギーを効率的に活用し、自動車の基本性能である「走る・曲がる・止まる」を競いながら、エネルギーの尊さと技術の重要性を楽しみながら体験する。この競技は与えられたエネルギーを自動車の基本性能を満足させながら、いかに効率よく走行するかを競うもので、創意工夫、知的挑戦である。

●競技車両

3輪以上で停止時に自立する構造とし、市販車両の無改造による出場は認めない。
※市販車両のモーターなどの部品の流用は認める。

●参加資格

原則として中学生及び高校生のチームとする。未成年チームの場合は責任者として教員あるいは保護者の指導を要する。

●観戦

指定のエリア（「参考：走行コース・観戦エリア」の項目をご参照ください）において走行を観戦することができるが、ピットエリアへの入場は競技者のみとする。

●留意事項

保険については各参加者が加入することとする。そのため、大会中の対物および対人の損害が生じた場合は自己責任となり、大会側は責任を負わない。現地の様子については、後日配信する映像の中で映り込む可能性があるため、このことについて承諾の上大会への参加を行う。

●エントリー期間、エントリーフィー

- 応募締切り 2025年5月30日（金）まで。
- 登録締切り 2025年7月4日（金）まで。
- エントリーフィー 1団体（出走1台）につき ¥20,000 お振込期限 2025年8月15日（金）

共催者問い合わせ先

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1
エコ1チャレンジカップ実行委員会事務局 杉町
TEL：03-3702-7792 Email：ecolchal@tcu.ac.jp
<https://www.jsae.net/kanto/event/ecol/>

大会役員・実行委員

■大会役員

会長	竹本 幸一	自動車技術会関東支部 支部長
副会長	野城 智也	東京都市大学 学長
〃	平田 禎治	日産自動車株式会社 執行役、チーフモノづくりオフィサー
競技長	若松 竜太	株式会社東京アールアンドデー
副競技長	千原 健史	日産自動車株式会社

■実行委員

委員長	黒地 英樹	公益社団法人自動車技術会 関東支部
副委員長	岡本 和男	日産自動車株式会社
副委員長	杉町 敏之	東京都市大学 理工学部 機械工学科
委員		
〃	阿部 和彦	公益社団法人自動車技術会 関東支部
〃	河村 泰孝	公益社団法人自動車技術会 関東支部
〃	白木 尚人	東京都市大学 理工学部 機械工学科
〃	伊東 明美	東京都市大学 理工学部 機械工学科
〃	矢作 修一	東京都市大学 理工学部 機械工学科
〃	森光 康隆	東京都市大学 理工学部 機械システム工学科
〃	秋元 聡	東京都市大学 ものづくり支援センター
〃	中野 秀洋	東京都市大学 情報工学部 情報科学科
〃	藤田 祐治	東京都市大学 情報工学部 知能情報工学科
〃	岡 誠	東京都市大学 情報工学部 知能情報工学科
〃	薩川 宣昭	東京都市大学 情報工学部 知能情報工学科

タイムスケジュール(8月23日)

当日は9時に開門し、車検に合格したチームを対象として競技を実施します。11:15から競技本部受付付近で開会式を行います。開会式の後、代表者とドライバーに対してドライバーズミーティングを行います。フリー走行については、車検合格後に行うことができます。フリー走行は、コースがクローズされるまでの時間内であれば周回数に制限はありません。表彰式は、当日の15:15より建屋の1階(最終ページの「施設等のご案内」を参照ください)にて行います。会場のクローズは16:30となりますのでご注意ください。

タイムスケジュール※

時間	内容	
9:00	開 門	
9:30	車 検 9:30~ 11:15	フリー走行
10:00		
10:30		
11:00	開会式 11:15~ / ドライバーズMTG	
11:30	競 技 11:30~ 14:00	
12:00		
12:30		
13:00		
13:30	技術交流会 14:00~ 15:15	
14:00		
14:30		
15:00	表彰式 15:15~	
15:30		
16:30	閉門	

※当日の状況により変更する可能性があります

<参加チーム>

No	チーム名	車名	所属(学校名)
1	松本工業高校 原動機部	松工2025	長野県松本工業高等学校
2	豊昭学園電気研究部	Dyson's TYPE R	豊昭学園 豊島学院高等学校 昭和鉄道高等学校
3	多摩科技無線工作部	TS-Ten	東京都立 多摩科学技術高等学校
4*	チーム日産・生産技術開発	R36 GTR	日産自動車株式会社
5	和光中学技術部	和光電力ww	和光学園 和光中学校
6	加賀山スピリッツ	Ao II α	青山学院中等部
7	東京都市大付属中高自動車部 中等部	ザマラーMk-II KURA-arm	東京都市大学付属中学校・高等学校
8	中央大学附属高等学校 物理部	CF-R6	中央大学附属高等学校
9	川崎総合科学高校	ダイナミック・ハナチャンバギー	川崎市立 川崎総合科学高等学校
10	東京都立杉並工科高等学校 機械工作部	SunFriend-A SUGI 改	東京都立 杉並工科高等学校
11	TCU-T 技術班	TSUBASA VI	東京都市大学等々力中学校・高等学校
12	千葉日レーシング(CNR)	6号機(2年熟成)	千葉日本大学第一中学高等学校
13	arts	ストロンガーDWB	ドルトン東京学園
14	静岡雙葉高等学校	VICTORIA	静岡雙葉高等学校
15	二松学舎柏高校	NGK-2	二松学舎大学附属柏高等学校
16	U・Tech Final MOTORS	U・Tech Final 号	埼玉県立浦和工業高等学校
17	東大寺学園自動車研究会	TEV-1	東大寺学園 中・高等学校
18	八王子桑志有志チーム	桑高車	東京都立八王子桑志高等学校
19	プロジェクトP	パッピー号	土浦日本大学中等教育学校

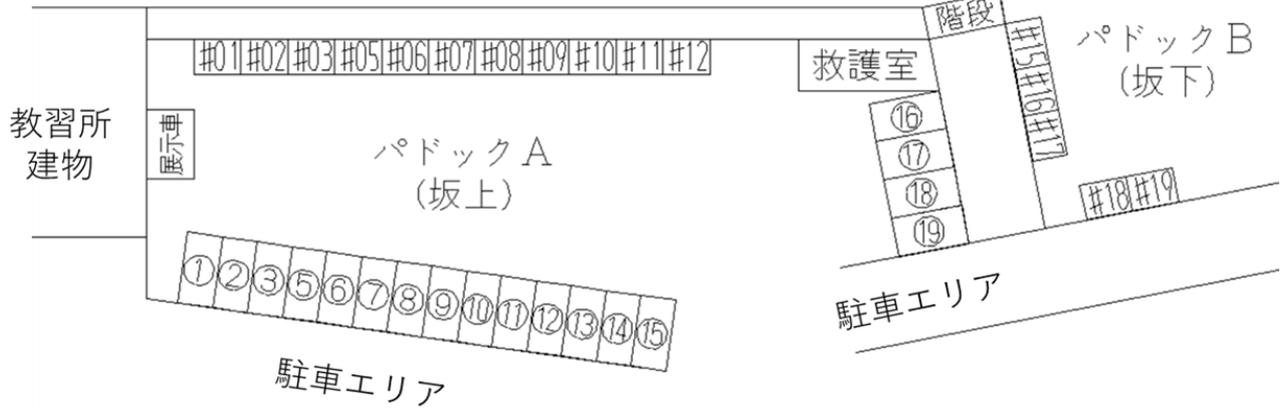
※ No.4 日産自動車(チーム日産・生産技術開発)は参考出走(表彰対象外)

パドック区割り

大会当日のパドックは次図の通りです。ゼッケン番号に対応するナンバー（#）の場所と駐車エリアをご利用ください。

※駐車エリアはパドックに1台/チームと教習所駐車場に1台/チームの合計2台駐車可能

＜競技参加チーム用テントスペース＞
 1.5間×2間（2.7m×3.6m）/チーム
 ※暑熱対策にテントを各チームで
 ご準備下さい



パドック	ゼッケン	駐車エリア	学校名
パドック A (坂上)	#01	①	長野県松本工業高等学校
	#02	②	豊昭学園 豊島学院高校・昭和鉄道高校
	#03	③	東京都立多摩科学技術高等学校
	#05	⑤	和光学園 和光中学校
	#06	⑥	青山学院中等部
	#07	⑦	東京都市大学附属中学校・高等学校
	#08	⑧	中央大学附属高等学校
	#09	⑨	川崎市立川崎総合科学高等学校
	#10	⑩	杉並工科高等学校
	#11	⑪	東京都市大学等々力中学校・高等学校
	#12	⑫	千葉日本大学第一中学高等学校
	パドック B (坂下)	#13	⑬
#14		⑭	静岡雙葉高等学校
#15		⑮	二松学舎大学附属柏中学校・高等学校
#16		⑯	埼玉県立浦和工業高校
#17		⑰	東大寺学園
#18		⑱	東京都立八王子桑志高等学校
#19		⑲	土浦日本大学中等教育学校
#04			【参考出走】日産自動車 エコ1サークル

チーム概要

長野県松本工業高等学校

01	チーム名	松本工業高校 原動機部		
	車名	松工 2025 (マツコウ ニーマルニーゴ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1670×800×450 mm		
	フレーム	スペースフレーム・アルミ	ボディ材質	スチレンボード
	重量	16 kgf	ブレーキ	ディスクブレーキ
	モーター	アウターロータ・ブラシレス	制作費用	230,000 円
チーム概要	3年生3名、2年生8名、1年生9名の合計21名で活動しています。指導者は白澤敏弘先生(機械科 教諭)です。			
他大会への参加歴				

豊昭学園 豊島学院高校 昭和鉄道高校

02	チーム名	豊昭学園電気研究部		
	車名	Dyson's TYPE R (ダイソン タイプアール)		
車両仕様	全長×全幅×全高	2400×1000×600 mm		
	フレーム	アルミニウム	ボディ材質	発泡スチロール
	重量	25 kgf	ブレーキ	キャリパーブレーキ
	モーター	S123325-560R	制作費用	450,000 円
チーム概要	東京池袋にある姉妹校が合同でやっている部活動です。今年も安全運転で頑張ります！今年もリニューアルのRだ！			
他大会への参加歴	秋田ワールドソーラーバイシクルレース 2012 2022 NASTEVE			

東京都立多摩科学技術高等学校

03	チーム名	多摩科技無線工作部		
	車名	TS-Ten (ティー エス テン)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1550×550×950 mm		
	フレーム	鉄、アルミ	ボディ材質	鉄、アルミ
	重量	25 kgf	ブレーキ	キャリパーブレーキ、ローラーブレーキ
	モーター	ブラシレス	制作費用	10 万円
チーム概要	無線工作部では、電気自動車の製作、電子工作、アマチュア無線の運用など、様々な活動をしています。			
他大会への参加歴	なし			

エコ1 チャレンジカップ 2025 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

日産自動車株式会社

04	チーム名	チーム日産・生産技術開発		
	車名	R36 GTR (アールサンロック ジーティーアール)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1700×840×380 mm		
	フレーム	前輪2後輪1, アルミ	ボディ材質	ダンブラ
	重量	未定 (10~20) kgf	ブレーキ	リムブレーキ
	モーター	BLDC	制作費用	70万円
チーム概要	日産自動車から参加させてください。大人げない車を作ってぶっちぎりの記録を目指します。			
他大会への参加歴				

和光学園 和光中学校

05	チーム名	和光中学技術部		
	車名	和光電力ww (ワコウデンリョク ワラワラ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1430×440×880 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	プラスチック
	重量	19.3 kgf	ブレーキ	サイドプル・ハンドブレーキ
	モーター	電動自転車より転用	制作費用	2.5万円
チーム概要	中学校の部活動です。2010年より参加させていただいております。			
他大会への参加歴	エネ1GP MOTEGI			

青山学院中等部

06	チーム名	加賀山スピリッツ		
	車名	Ao II α (エーオーツーアルファ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1900×700×450 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	プラスチック・ベニヤ板
	重量	20 kgf	ブレーキ	リムブレーキ
	モーター	ブラシレス DC モーター	制作費用	20万円
チーム概要	マイコン部中学1~3年のチーム			
他大会への参加歴	エコ1チャレンジカップ 2023			

エコ1チャレンジカップ 2025 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～

東京都市大学附属中学校・高等学校

07	チーム名	東京都市大学附属中高自動車部 中等部		
	車名	ザマラーMk-II改 KURA-arm (ザマラーマークツーカイ クラアーム)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1690×730×355 mm		
	フレーム	スチールパイプ	ボディ材質	塩ビ
	重量	45 kgf	ブレーキ	Vブレーキ
	モーター	ブラシレスモーター 24V	制作費用	100,000 円
チーム概要	中1, 中2の混成チームです。			
他大会への参加歴	ガソリン車は Honda エコマイレージチャレンジ, EVは本体のみです。			

中央大学附属高等学校

08	チーム名	中央大学附属高等学校 物理部		
	車名	CF-R6 (シーエフ アールシックス)		
車両仕様	全長×全幅×全高	2000×630×500 mm		
	フレーム	木製モノコック	ボディ材質	木材 (ランバーコア ヒノキ)
	重量	30 kgf	ブレーキ	機械式ディスクブレーキ
	モーター	ブラシレス DC モーター	制作費用	200,000 円
チーム概要	今年は新型マシンになりました。完走目指してがんばります。			
他大会への参加歴	Ene-1 MOTEGI GP KV40 クラス 2022～2024			

川崎市立川崎総合科学高等学校

09	チーム名	川崎総合科学高校		
	車名	ダイナミック・ハナチャンバギー		
車両仕様	全長×全幅×全高	1300×600×840 mm		
	フレーム	鉄角パイプ	ボディ材質	繊維強化プラスチック
	重量	28 kgf	ブレーキ	ディスクブレーキ
	モーター	ブラシレスモーター	制作費用	70,000 円
チーム概要	川崎総合科学高校のモータースポーツ部活動です。我々は「全力で楽しむ」をモットーに活動しています。普段はエコ1チャレンジカップに向けて車体の設計・製作、走行試験、改善・改良を行っています。今大会の目標は先輩方から受け継ぎ、改善した車体で25分以内に走り切ることです。			
他大会への参加歴				

東京都立 杉並工科高等学校

10	チーム名	東京都立杉並工科高等学校 機械工作部		
	車名	SunFriend-A SUGI 改 (サンフレンド. エー. スギ. カイ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	2000×1000×770 mm		
	フレーム	スチール 角パイプ	ボディ材質	なし
	重量	20 kgf	ブレーキ	自転車用Vブレーキ
	モーター	ブラシレス DC モーター 24V	制作費用	10 万円
チーム概要	本校は学科改編により今年度機械科が無くなります。集大成として製作しました。機械科のプライドを見て下さい！ 今年で最後の出場になります。			
他大会への参加歴				

東京都市大学等々力中学校・高等学校

11	チーム名	TCU-T 技術班		
	車名	TSUBASA VI (ツバサ シックス)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1800×900×550 mm		
	フレーム	スチール / アルミ	ボディ材質	スチール / アルミ
	重量	(未定)	ブレーキ	Vブレーキ
	モーター	インホイールモーター	制作費用	50,000 円 (モーター抜き)
チーム概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高2 3人・中3 3人 中2 1人の小規模でマイペースに活動しています。 ・今年のテーマは「かっこよく」で、きちんと完走できる機能を搭載しながら、できるだけかっこよくできるこだわりを詰めこみました。 			
他大会への参加歴				

千葉日本大学第一中学高等学校

12	チーム名	千葉日レーシング (CNR)		
	車名	6号機 (2年熟成)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1500×750×330 mm		
	フレーム	鉄 角パイプ	ボディ材質	鉄 (STKMR400)
	重量	20 kgf	ブレーキ	リムブレーキ
	モーター	ブラシレス DC	制作費用	70,000 円
チーム概要	我々千葉日本大学第一中学高等学校物理部は、バッテリーカー班・宇宙エレベーター班・ロボットプログラミング班の3つの班に分かれ、制作活動に取り組んでいます。昨年は車体作成のため出場はできませんでしたが、今年は新機体で頑張りたいと思います。			
他大会への参加歴				

ドルトン東京学園

13	チーム名	arts		
	車名	ストロンガーDWB (ストロンガーディーダブルビー)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1660×490×750 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	鉄
	重量	30 kgf	ブレーキ	不明
	モーター	インホイールモーター	制作費用	100,000 円
チーム概要	私たちは、中高生ならではの柔軟な発想とチームワークで「技術とロマンを詰め込んだ電気自動車」の製作に挑戦しています。環境に配慮しつつ、斬新な機構と強靱な車体づくりを追求します。			
他大会への参加歴				

静岡雙葉高等学校

14	チーム名	静岡雙葉高等学校		
	車名	VICTORIA (ヴィクトリア)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1600×1000×800 mm		
	フレーム	アルミ角パイプを使用	ボディ材質	FRP 等
	重量	20 kgf	ブレーキ	ディスクタイプを予定
	モーター	ブラシレスモーター	制作費用	100,000 円
チーム概要	本校科学技術コースの生徒2名を中心に構成されたチームです。			
他大会への参加歴	ありません。昨年度はじめてエコ1チャレンジカップに参加しました。			

二松学舎大学附属柏高等学校

15	チーム名	室伏8		
	車名	二松学車 (ニショウガクシャ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1500×700×700 mm		
	フレーム		ボディ材質	
	重量		ブレーキ	
	モーター		制作費用	
チーム概要	3年ぶりに出場します。前回果たせなかった完走を目指します！			
他大会への参加歴	エコ1チャレンジカップ 2022			

埼玉県立浦和工業高等学校

16	チーム名	U・Tech Final MOTORS		
	車名	U・Tech Final 号 (ユー・テック ファイナル ゴウ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1800×730×600 mm		
	フレーム	モノコックフレーム、アルミ合金	ボディ材質	発砲スチロール、プラ段ボール
	重量	25 kgf	ブレーキ	キャリパーブレーキ
	モーター	ブラシレスモーター 250W	制作費用	130,000 円
チーム概要	<p>私たち「U・Tech Final MOTORS」は、初参加でありながら、最後の参加でもあります。理由は、今年度で閉校になってしまうからです。我々チーム全員が機械科に所属しており、集まったメンバーはみんな車好き、自転車好きなので、一丸となってEVカーを製作してレースに挑みます。目標は完走以上を目指します。</p>			
他大会への参加歴				

東大寺学園 中・高等学校

17	チーム名	東大寺学園自動車研究会		
	車名	TEV-1 (テヴ ワン)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1280×920×750 mm		
	フレーム	鋼製アングル	ボディ材質	木材
	重量	21 kgf	ブレーキ	リアドラムブレーキ
	モーター	10 インチ 350W インホイールモーター	制作費用	60,000 円
チーム概要	<p>今回が大会初参加です。結成したばかりの団体で、技術もノウハウも未熟ですが、完走できるよう頑張ります。</p>			
他大会への参加歴				

東京都立八王子桑志高等学校

18	チーム名	八王子桑志有志チーム		
	車名	桑高車 (ソウコウシャ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1800×1000×500 mm		
	フレーム	鉄	ボディ材質	
	重量	30 kgf	ブレーキ	ディスクブレーキ
	モーター	DC モーター	制作費用	50,000 円
チーム概要	<p>物づくりに興味があるメンバーが集まりました。今回初参加ですが、上位入賞して賞品はいただきます！</p>			
他大会への参加歴				

土浦日本大学中等教育学校

19	チーム名	プロジェクトP		
	車名	パッピー号 (パッピーゴウ)		
車両仕様	全長×全幅×全高	1750×600×650 mm		
	フレーム	アルミ角パイプ	ボディ材質	プラスチック
	重量	27 kgf	ブレーキ	ディスクブレーキ、リムブレーキ
	モーター	ブラシレス 24VDC、210W	制作費用	150,000 円
チーム概要	中学生と高校生の混合チームです。今年度新たに車体を一から作成しました。例年より早く調整しているため、完走を目指します。			
他大会への参加歴	Ene-1GP MOTEGI GP			

実施規定 [Regulations]

〈 第 1 章 総則 〉

大会のすべての参加者は、本規定を理解した上、これを遵守することに同意するものとする。

第 1 条 大会趣旨

本大会は、以下を目的とする。

- (1) ものづくりの楽しさと重要性の認識
- (2) 環境とエネルギー問題の認識と体験
- (3) 創造性に富む人材の育成

すなわち、電気エネルギーを効率的に活用し、自動車の基本性能である走る・曲がる・止まるを競いながら、エネルギーの尊さと技術の重要性を、楽しみながら体験することを目的とした競技大会である。

第 2 条 プログラム

2025 年 8 月 23 日 (土)

9:00	開門
11:00	開会式・ドライバーズミーティング
11:30	競技
14:00	技術交流会
15:15	表彰式
16:30	閉門

第 3 条 大会の名称

エコ 1 チャレンジカップ 2025 ～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～
以下「本大会」と称する。

第 4 条 共催団体

自動車技術会 関東支部、東京都市大学、日産自動車株式会社

第 5 条 開催場所

本大会は学校法人五島育英会東急自動車学校（東京都多摩市唐木田 3-6）において開催する。

第 6 条 後援

文部科学省、公益社団法人日本材料学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電気学会

第 7 条 協賛

東急自動車学校、株式会社東京アールアンドデー、株式会社ピューズ、東京都市大学 校友会

第 8 条 プロモート

本大会のプロモーションは「エコ 1 チャレンジカップ実行委員会」（以下「実行委員会」という。）が行う。

第 9 条 大会構成員

本大会は、会長、副会長、役員及び実行委員会委員により構成される。

第 10 条 事務局の連絡先

東京都世田谷区玉堤 1-28-1
エコ 1 チャレンジカップ 2025 事務局 担当：杉町（東京都市大学 理工学部 機械工学科）
TEL 03-5707-0104(内線:2619) FAX 03-3704-7675
e-mail: eco1chal@tcu.ac.jp

第 11 条 規定の改正

実行委員会は、本規定を改正することができる。

第12条 規定の解釈

本規定に定められていない事項あるいは明記されていない事項については、実行委員会が最終的な決定を下すものとする。

第13条 異議申立て

- 1 大会中に異議申立てを行う場合には、異議申立ての対象となる事態の発生から30分以内に、書面にて競技本部に提出しなければならない。安全上のペナルティに関する異議申立てには一切応じない。
- 2 異議申立てを行う事のできるのは、各チームの代表者に限る。

第14条 ブリーフィングとドライバーズミーティング

チームの代表者は、事前に配布されるブリーフィング資料を熟読しなければならない。チーム代表者及びドライバーは、当日のドライバーズミーティングに参加しなければならない。

第15条 競技車両の識別

各チームにゼッケンナンバーを割り当てる。

〈 第2章 エントリー 〉

本大会の参加資格は、原則として中学生及び高校生のチームとする。

第16条 参加申し込み

- 1 参加チームはまず応募を行い、応募の受付は、2025年5月30日(金)迄とする。
- 2 登録の受付は2025年7月4日(金)迄とし、応募内容に変更がある場合は登録時に訂正する。
- 3 大会実行委員会の承認により、大学生及び一般チームに参加させる場合がある。
- 4 未成年チームは保護者あるいは教員などの成人責任者の同行を必要とする。
- 5 未成年の参加者は、保護者の承諾を必要とする。
- 6 小学生以下の参加者はドライバーとなることができない。
- 7 チーム代表者は、車検の時刻までに登録メンバーに限り、ドライバーの変更が出来る。
- 8 大学生及び一般チームは参考出走とし、順位には含めないものとする。
- 9 高等専門学校のチームはメンバーの主体を3年生以下とし、ドライバーが3年生以下の場合のみ高校生チームと同等とみなす。
- 10 参加台数が多数の際は、1校あたり1台とする場合がある。

第17条 エントリーフィー

1団体(出走1台)につき ¥20,000

第18条 事故・損失

すべての参加者は、事故、損失により傷害・損害が生じた場合、自己の責任において一切の処理を行わなければならない。主催者及び大会役員、コース施設管理者は一切の損害補償の責任を免除されていることを承知していなければならない。

〈 第3章 競技概要 〉

この競技は与えられたエネルギーを自動車の基本性能を満足させながらいかに効率よく走行するかを競うもので、創意工夫、知的挑戦の競技である。

第19条 コース

東急自動車学校(4輪教習コース)を使って行われる。

第20条 競技方法

各チームは、規定により定められた性能、個数のバッテリーを用い、それぞれの性能に合わせた走行計画のもと、以下の競技を実施し、総合優勝を競うものとする。

- (1) スラロームコースをいかに早く安定走行できるか。
- (2) デザイン性。特に独創性と先進性(低コスト・高機能・材料置換・構造・エコ)を評価する。
- (3) 安全性、車両が暴走しないための防止装置を評価する。

第21条 試走

当日の車検に合格した車両は、指定された時間内で試走を行うことができる。試走で用いるバッテリーは競技で使用する仕様と同等とする。

第22条 スタート

各チームは、競技担当者の指示に従いスタートする。

第23条 競技の終了

規定の10周回後または走行時間内（最大30分を予定）に走行終了する。

第24条 走行

- 1 定められたコースを走行する。
- 2 危険が生じた場合は、ベルまたはクラクションで周囲に注意喚起をする。
- 3 すべての競技者は、競技中に緊急車両などがコース内を走行することを承知していなければならない。
- 4 競技中止、走行不能となった場合は、コース外に移動されることを承知していなければならない。

第25条 成績

10周回完走した場合は、10周回の走行時間が短い方を上位とする。
 10周回に満たない場合は、規定時間内の周回数が多いチームを上位とする。
 同一周回数の場合は、走行時間が短い方を上位とする。
 ペナルティがある場合は、減点後の成績を採用する。

第26条 信号旗

競技中、以下の旗を信号旗として使用する。

- (1) 赤色旗 : 競技終了または競技中止
- (2) 黄色旗 : 走行注意
- (3) 青色旗 : 後続車有り注意

〈 第4章 車両規則 〉

第27条 シャーシ・ボデー

- 1 競技車両のデザイン及び構造は、以下の各号を除き自由である。
- 2 車両構造: 常時3輪以上が接地し、ドライバーが乗車状態（足などを地面に付けない走行時と同様の乗車姿勢）で静止時に自立が出来る構造であること。また、走行時に車体が傾斜する構造になっているものは最大傾斜の状態でもその状態（自立出来る）が保たれていること。
アシストサイクルなどの市販車両での参加は認めない。
- 3 車両サイズ: 競技車両は全長3.0m、全幅1.2m、全高1.6m以内とする。
- 4 ブレーキ: ドライバーが乗車した状態で5%の勾配程度の路面上で静止可能とし、独立した2系統のブレーキを装備することが望ましい。
- 5 回転半径は6m以下とする。なお、コーナーなどを曲がりきれない場合は、コースマーシャルなどが補助する場合がある。その場合はペナルティを科す場合がある。

第28条 モーター

特に制限はしない。

第29条 バッテリー

- 1 実行委員会が大会前に送付する市販の容量（公称）は12V-3Ah以下のバッテリー2個とする。
- 2 バッテリーの電解液の硫酸濃度は、市販のもの（充電時の電解液比重1.32）より変更してはならない。
- 3 スタート後の充電、バッテリー交換は認めない。
- 4 競技走行時は送付されたバッテリーを使用すること。

第30条 コンデンサー及びキャパシタ

コンデンサーやキャパシタを使用する場合は、スタート前に電荷がゼロであることを証明しなければならない。また、ゴムなどの物理的な補助装置を用いる場合はスタート前にエネルギーを蓄えてはいけない。

第31条 電装及び他のエネルギー源

- 1 人力を含め走行の補助となる機構、装備は認めない。
- 2 所定のバッテリー以外の電源を用いた電気回路を、走行用の電気回路に接続してはならない。

第32条 安全性

- 1 競技車両の外側及びコックピット内に危険につながると思われる不要な突起物があってはならない。
- 2 ドライバーが容易に自力で車外へ脱出できる構造であること。
- 3 安全な走行が出来る視界を確保し、後方確認用に2個以上のバックミラーを装備すること。
- 4 警音器（ベルまたはクラクションなど）を装備すること。
- 5 高速回転体（チェーン、スプロケット、ギヤーなど）には十分な強度のある保護カバーを施すこと。
- 6 バッテリーは容易に脱落しないように車体に固定し、端子や配線はショートしないように絶縁保護対策を施すこと。競技開始時におけるバッテリーの固定方法、絶縁保護については、車検完了時と同じ状態にすること。
注意：バッテリー搭載位置については、雨天時に感電の恐れがないように配慮すること。
- 7 ドライバーはオートバイ用ヘルメット（ジェット型またはフルフェイス）と肌の露出の無い服装（長そで、長ズボン、グローブ、シューズ）を着用すること。
- 8 緊急時には車外から電源が切れるなど、車両が暴走しない仕組みがあることが望ましい。

第33条 車両検査

- 1 競技に参加する全ての車両は、本大会当日の競技開始前に行われる公式車両検査を受けなければならない。
- 2 車両検査の方法に関しては別に定める。

第34条 競技番号（ゼッケン）及び大会ステッカー

参加車両は主催者が支給するゼッケン（A5版）2枚のうち、左右両側面の確認し易い場所に貼付しなければならない。

〈 第5章 その他 〉

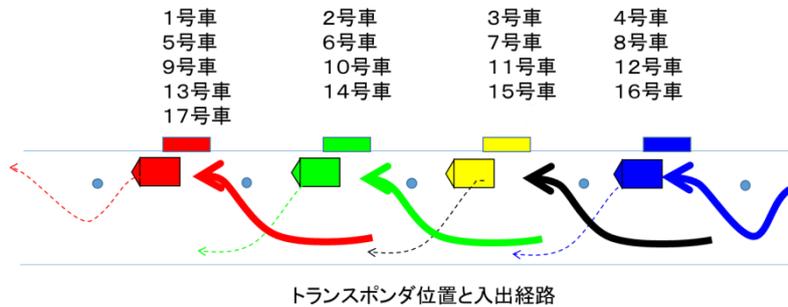
第35条 失格

実行委員会競技本部の指示に従わなかった場合、あるいは実行委員会競技本部が悪質なマナーと判断した場合は失格とする。

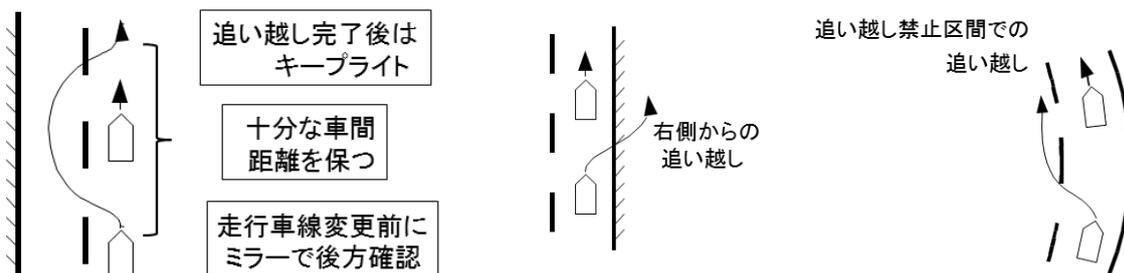
競技補足

——「競技補足」は一部追加変更する場合があります。大会直前に改めてご案内しますので、ご確認下さい。

- (1) バッテリーは、12V-3Ah 以下のバッテリー2 個(予定)を、実行委員会より大会前に送付します。競技直前の充電は認めますが、競技開始後の充電は認めません。充電も含め、管理は各チームに任せますが、バッテリー液の硫酸濃度は市販のものより変更しないで下さい。また、会場には各チーム用の電源は用意しませんので各自充電器具をご用意下さい。
- (2) 当日、受け付け時に車検記録表とゼッケン (2 枚) をお渡しします。ゼッケンは車検までに車両の左右両側面の見えやすい位置に貼付して下さい。競技は1 周につき1 回のドライバーの交替を行います (1 人が連続して2 周運転することはできません)。
- (3) スタートは基本的に1 台毎に行いますが、競技運営上コース上に複数台が走行します。スタートとゴールの計測はトランスポンダを使用します。スタートできない場合でも指定時刻にスタートしたものと取り扱います。
- (4) スタート時は、ドライバーがトランスポンダをタッチしてスタートしてください。周回後は、周回したドライバーがトランスポンダをタッチしてドライバー交替を行ってください。ゴールの時も、周回したドライバーがトランスポンダをタッチして走行を終了してください。
- (5) ドライバー交替は指定した位置で行って下さい。コース内に立ち入って良いドライバーは1 名のみを認めます。ただし、ドライバー交替に支障がある場合はドライバー以外の1 名の補助を認めます。上記以外はコースに入らないようにお願いします。競技本部から指示があった場合はそれに従って下さい。
- (6) 周回後、コース上から自車のピット停止位置に進入する際、手前の他車のトランスポンダ前を通過しての進入やピットアウト時に前方の他車のトランスポンダ前を通過してピットアウトした場合、また、停止位置をオーバーして隣の停止位置(車両)の妨げになるようなオーバーシュートをした場合は、コースマーシャルの判断でペナルティを科す場合があります。
 なお、ピットイン・アウトはピットインの車両を優先とし、ピットアウトする車両は後方の安全確認を十分に行い、発進して下さい。接触があった場合にはピットアウト側のチームにペナルティ (3 分) を科します。



- (7) トランスポンダにタッチする際、自車のトランスポンダ以外の他車のトランスポンダにタッチした場合でもタイムは計測されますが、ペナルティ (20 秒) を科します。
- (8) 走行中に追い越しをする車両は、相手の車との車間距離を十分に保ちながら、バックミラーで後方の安全を確認した上で、走行ラインを左に変更して下さい。原則として相手の左側から追い越すようにして下さい。危険な追い越しと判断された場合は競技中止を含めたペナルティを科します。追い越しを完了したら、後方の確認を行った上で走行ラインを元の右側に戻して下さい。



- (9) 走行中に追い越される車両は、現状の自然な走行レーンを追い越ししようとする車両の走行を塞ぐ(妨害)ように、故意的に危険を伴うような挙動を禁止します。コースマーシャルが危険と判断した場合にはペナルティを科します。
- (10) ペナルティが科せられる可能性があるチームに対しては、ペナルティの内容について、時々刻々にチームへ報告します。
報告方法は、競技本部ホワイトボードなどに必要に応じ掲示します。なお、競技中はペナルティは決定ではなく審議中とします。事項の発生後、実施規定第13条による所定の異議申し立てがなかった場合は、審議の結果によりペナルティを科し、それをもって順位を決定します。
コースマーシャルの目が行き届かない場合にチーム側からの違反行為の申告やペナルティなどへのクレームも必ず書面にて提出して下さい。それ以外の方法でのクレーム等は認めません。
- (11) ゴールする車両はコース上の停止エリアで安全に停止し、停止エリアから離れた(数m)トランスポンダにタッチして下さい。車両が動いている状態でのドライバーの乗降は危険行為とみなし、競技中止を含めたペナルティを科します。
- (12) 競技本部の記録はトランスポンダからの信号を使用します。
- (13) マシントラブル等で規定時間を過ぎた場合はその時点で競技を中止します。修理についてはドライバー自身が実施する場合は認めます。
①スタートから15分経過した時点で1周回終了していない。
②スタートから25分経過した時点で2周回終了していない。
③スタートから30分経過している。
- (14) 競技本部が危険運転とみなし警告を受け容れない車両は、状況により1秒増から競技中止までのペナルティを科す場合があります。危険運転は主にコースアウト、ガードレールなど構造物への接触、転倒を示します。
- (15) 自走出来ない場合は人力(ドライバーが押す)で移動させることを認めますが、ペナルティとして60秒を加えます。例えば、途中で自走できなくなり、その後ドライバーが車両を押してゴールした場合、ゴール後、トランスポンダにタッチして計測された総時間に60秒/周を加えます。
走行時間 = 自走時間(10周目途中まで) + 手押し時間(ゴールまで) + ペナルティ60秒

なお、9周以下の周回数で自走できなくなった場合は、さらに3分/周を加えることがあります。
走行時間 = 自走時間(9周目途中まで) + 手押し時間(ゴールまで) + ペナルティ60秒 + 3分
- (16) 車両の安全装置について推定効果のある安全装置があれば、一律で走行の合計タイムを-60秒する。
- (17) コース上では停止しないで下さい。コースマーシャルの指示に従い必ずコース外に停車して下さい。
- (18) コースマーシャルを含め、全てボランティアによる手作り競技ですのでご協力をお願いします。
- (19) 当日は記録取材を行います。大会終了後は実施結果や写真などを報告書やWebページ等で公開します。雑誌等の取材に応じた場合も、断りなく写真などを掲載させていただきますので、予めご了承下さい。
- (20) 大会当日、地震の発生や竜巻・雷雨などの天候不順などの際、大会の中止・中断、建屋への緊急退避などを競技本部で決定する場合があります。また、チームリーダーはチーム全体、また参加者個人の責任の元に行動することをご了承下さい。

参考：電気自動車作成例

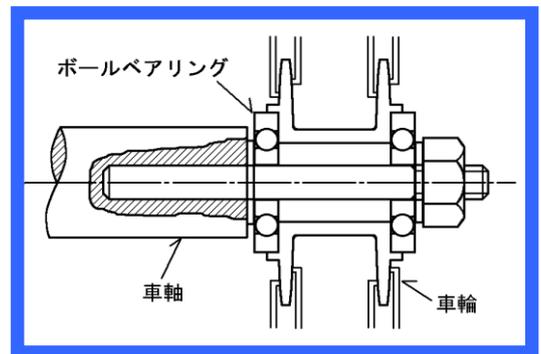
1. シャーシ

木の板（コンパネ）を車の形に切り取ります。三脚を使うのも一案。



2. 前輪

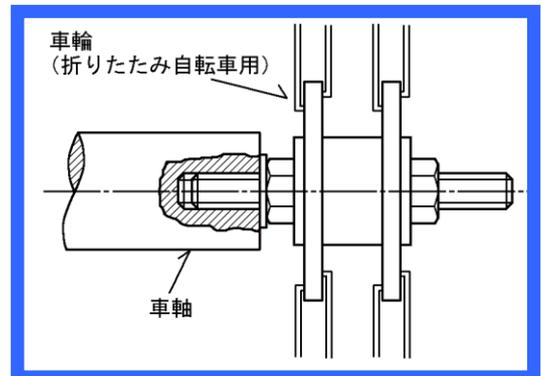
シャーシの板に丸棒（金属製）を立てます。車体前部の重量が全てかかるので棒は太いものを用います。車軸に車輪（折りたたみ自転車や車椅子の車輪を利用）を取り付けます。



▲前輪取り付け部の例
より簡単な前輪取り付けの例▼

3. 後輪・動力部

シャーシに後輪用の穴をあけます。折りたたみ自転車の後輪に、スプロケットを新たに付けます。それをチェーンでモーター側のスプロケットとつなぎます。モーターはシャーシの板にボルト留めし、金属板を加工したハブで後輪をシャーシに取り付けます。ブレーキは自転車のものをそのまま使います。



モーターやスプロケットのメーカー（特殊電装、澤村電気、椿本スプロケットなど）については、各 Web ページをご検索下さい。



前輪を車軸に片方だけ取り付けただけのところ



前輪の車軸取り付け部

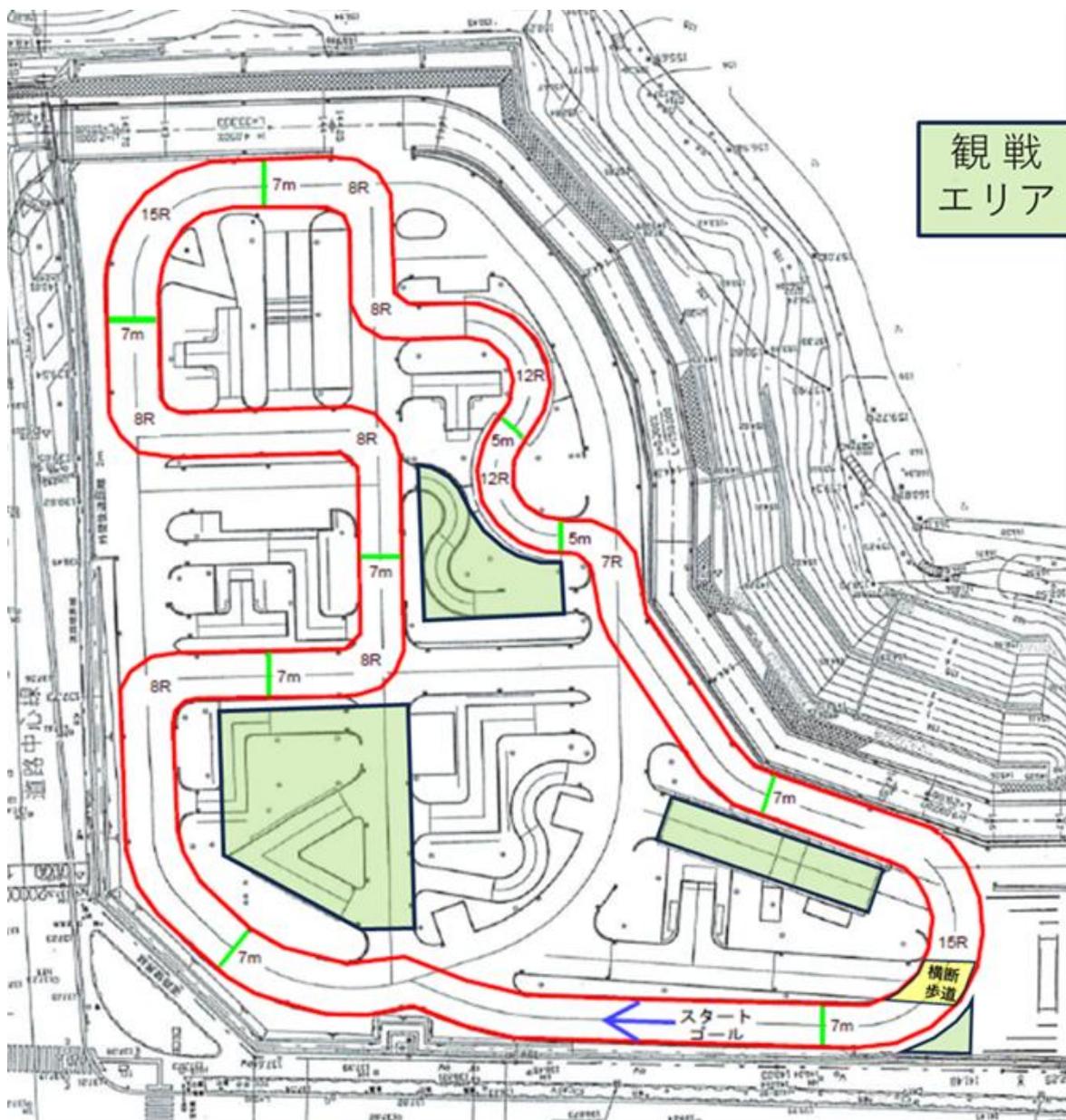


取り付け前に、とりあえずモーターや後輪を並べてみたところ

走行コース・観戦エリア

東急自動車学校の4輪コースを使用する。

指定のエリア（観戦エリア内）において走行の観戦ができるがピットエリアの入場は競技者のみとする。



<競技者以外の観戦される方>

観戦エリアにて観戦をお願いいたします

数多くの皆様のご来場をお待ちしております

エコ1チャレンジカップ2025 大会会場

東京都多摩市唐木田 3-6 東急自動車学校
 小田急線「唐木田」駅より シャトルバス 約8分、徒歩 約20分
 京王線「京王堀之内」駅より 徒歩約20分
 ※ お車でのご来場はご遠慮下さい。

——東急自動車学校 Web ページより抜粋



エコ1チャレンジカップ2025 シャトルバス時刻表

大会当日(8月23日)は、下記のとおり、唐木田駅と東急自動車学校間をシャトルバスが運行しますので、ご利用ください。なお、定員を超える場合はご乗車になれませんので、ご了承ください。

唐木田駅→東急自動車学校

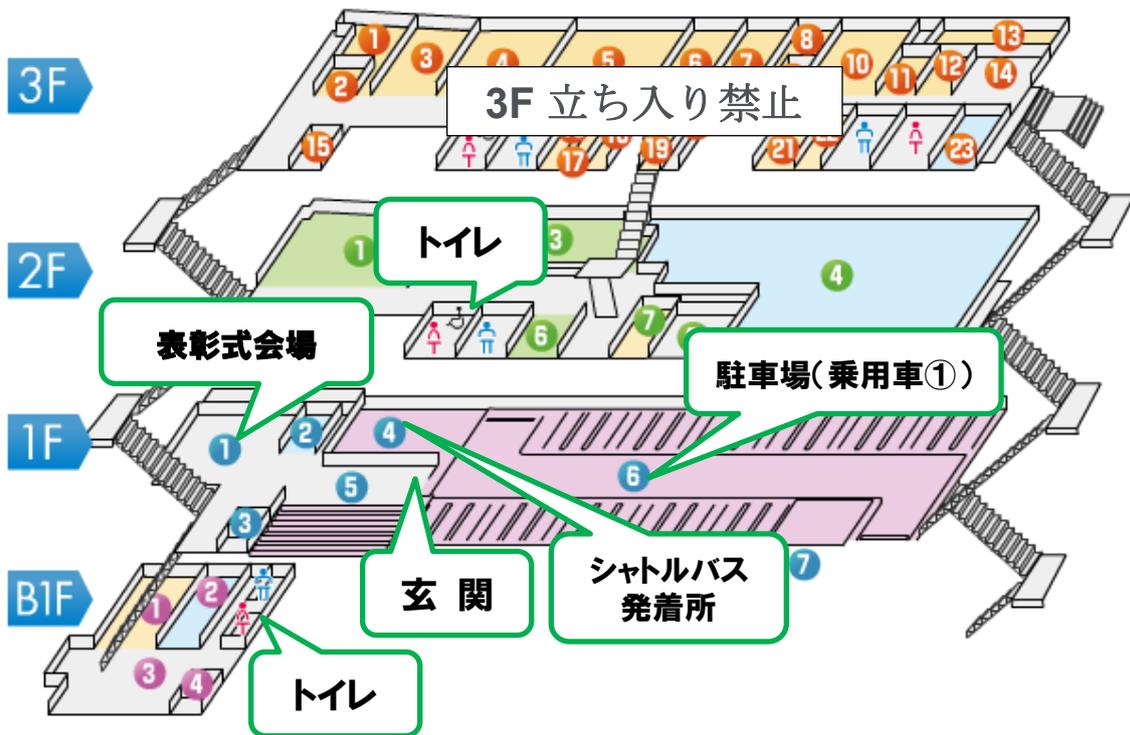
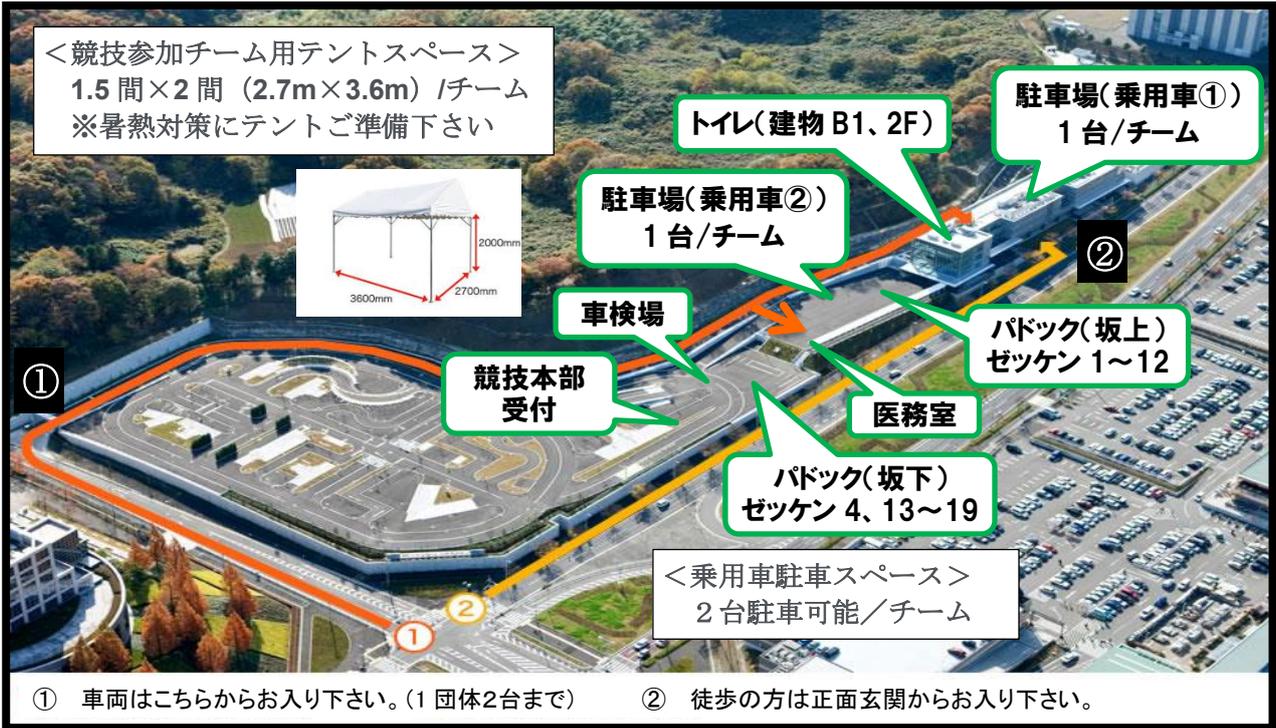
8		4 1
9	0 1	1 9
10		
11	0 0	1 6

東急自動車学校→唐木田駅

16	1 0 (2便)	4 0 (2便)
17	0 0 (2便)	



エコ1 チャレンジカップ 2025 施設等のご案内



※ 参加者の受付は、コース内の「競技本部」で行います。

※ 施設内には自販機のみでコンビニはありません。隣のショッピングセンターをご利用ください。

※ ゴミ類は必ず持ち帰り、施設内のゴミ箱の利用はご遠慮ください。

※ 炎天下における競技となる可能性があります。各チーム熱中症対策をとる様にしてしてください。